

総務省・統計情報研究開発センター主催

第65回全国統計大会

第63回「統計グラフ全国コンクール」表彰式

昇華学園小学校5年生の井川梨紗子さん「日本統計学会会長賞」
「鉛筆を使っていますか？」が



会場を埋め尽くす全国からの参加者、アチコチから方言が聞こえる賑やかな大会でした



主催者の総務省挨拶
古賀 篤 総務大臣政務官



統計情報研究開発センター
小玉 正任 会長 挨拶



受賞者を代表して謝辞を述べる
《大内賞》受賞の松田芳郎氏



各表彰状を授与する側の皆さん



受賞者側の皆さん

平成27年11月19日（木）午後1時半から午後5時まで、国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟で、総務省と統計情報研究開発センター主催《第65回全国統計大会》が開催されました。

各省大臣表彰はじめ《第63回統計グラフ全国コンクール》の入賞作品表彰、《日本統計学会会長賞》や《日本品質管理学会賞》の表彰、《大内賞》表彰と副賞授与等が行われました。

主催者挨拶、祝辞の後、総務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣など各省大臣表彰があり、続いて《第63回統計グラフ全国コンクール》応募26,000件余りから入賞作表彰、最後に《大内賞》表彰が行われました。

休憩後《第36回統計シンポジウム》「平成27年国勢調査の結果データの利活用」が行われ、午後5時過ぎに終了しました。

《第65回全国統計大会》の様様



《第65回全国統計大会》の会場はご覧のとおり空席を探すのも難しいほど…。



各種統計に係わる活動を展開、表彰対象の皆さんと統計グラフコンクールの表彰対象の皆さん



各種表彰を受ける皆さん

《全国統計大会》は国や地方公共団体、関係団体などの統計関係者が一堂に会し、統計及び統計制度の進歩発展、統計の普及啓発、相互交流と研鑽を行うことを目的に開催するもので今年65回目の行事です。

“統計”は私たちが生活する中で欠くことのできないものですが「国勢調査」などの時期以外、必ずしも関心が高いとは言えませんが、ビッグデータの時代に入り、統計データの重要性が理解され、幅広い分野で統計への関心が高まっています。

《第65回全国統計大会》の前半は全国各地で総務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省などの統計データの収集・調査に係わる皆さんに対する各省《大臣表彰》が行われました。

続いて《第63回統計グラフ全国コンクール》の応募作品の中から入賞者への表彰、我が国の統計の父・大内兵衛博士を記念する《大内賞》の授与、休憩後《第36回シンポジウム》が行われ閉幕しました。

《第65回全国統計大会》 各省大臣表彰



《総務大臣賞》

総務省の古賀篤大臣政務官が表彰状を授与。



《厚生労働大臣賞》

厚生労働省の小川大臣官房統計情報部長が授与。



《農林水産大臣賞》

農林水産大臣賞は佐々木大臣官房統計情報部長が授与。



《総務大臣表彰》は、今年実施された「国勢調査」はじめ、「労働力調査」、「小売物価統計調査」、「家計調査」、「個人企業経済調査」等各種統計調査に貢献した570名余りの調査員に対して贈られたもので、群馬県の齊藤キヨ子さんと福岡県の野見山輝子さんが全国の受賞者を代表して表彰状を受け取りました。

続いて行われた《厚生労働大臣表彰》は、厚生統計関係で個人表彰と団体表彰があり、個人表彰では都道府県職員・市町村職員表彰、統計調査員、団体などが、また労働統計では個人表彰の部で都道府県職員表彰、統計調査員表彰、団体や事業所などを表彰するもので、代表として福島県の岡部英雄さんが表彰状を受け取りました。

《農林水産大臣表彰》では「農林水産統計調査」に永年貢献した調査員と特別協力者の皆さんが表彰されました。

受賞者を代表して愛知県の農林水産統計の永年協力者・林学さんが農業統計記帳農家としての表彰状を受け取りました。

《第65回全国統計大会》 各省大臣表彰



《経済産業大臣賞》

経済産業省の吉村大臣官房審議官グループ長が授与。



《経済産業大臣表彰》は、「構造統計」と「動態統計」に関する調査に貢献した統計調査員などが表彰対象で、代表として滋賀県の松岡洋子さんが表彰状を受け取りました。



《国土交通大臣賞》

国土交通省の持永総合政策局情報政策本部長が授与。

各省関係の表彰の最後《国土交通大臣表彰》は、「建設統計調査」についての表彰が行われ、地方公共団体職員、調査員や事業所が表彰されました。

代表してヤマコウ建設の平井潔さんが表彰状を受け取りました。

以上が《各省大臣表彰》の模様です。



大臣表彰を受けた皆さん（前列）

《第63回統計グラフ全国コンクール》表彰



総務省の古賀大臣政務官が表彰状を授与。



文部科学省の徳田正一大臣官房審議官が表彰状を授与。

《第63回統計グラフ全国コンクール》には全国から26,000件以上の応募がありましたが、その中から優秀作品が選ばれ、表彰が行われました。

《総務大臣特別賞》は茨城県八千代町立東中学校3年の篠原菜々花さんと西村翔太郎さんの二人が「白菜の町『八千代』の助っ人は外国人」が選ばれ古賀大臣政務官から表彰状を授与されました。

《文部科学大臣奨励賞》には、慶應義塾横浜初等部の2年生、浜田夏光さんの「せかいのこっきあつまれ！！」が選ばれました。



文部科学省の徳田生涯学習政策局生涯学習総括官による表彰状授与では緊張の余りちょっと遠めに立った浜田さん、表彰状まで懸命に手を伸ばして表彰状を受け取りました。

白菜の町『八千代』の助っ人は外国人

外国人技能実習生の実態を知り、町の将来を考えよう！

はじめに

八千代町では、自給率を向上させた白菜、メロン、梨など、農産物特産づくりに取り組んでおり、高齢化や労働力の確保から研修・技能実習生制度を導入している。実習生の多くは中国人であり、住み込みで日本の農業を学んでいる。主力産業を支えている外国人実習生の数に占める中学生3年生のアンケート結果をもとに、外国人との共生や町の将来について考えてみた。

新しい研修・技能実習制度とは

研修・技能実習制度は、我が国で開発された技術・技術・知識の開発途上国等への移転等を目的として創設されたもので、研修・技能実習生を受け入れている機関の一部には、本来の目的を十分に達成せず、実質的に低賃金労働者として扱う等の問題が生じており、早急な対応が求められている。新しい研修・技能実習制度では、研修生・技能実習生の法的保護及びその地位の安定化を図るための様々な措置が講じられている。（法務省「新しい研修・技能実習制度（平成27年7月施行）」について「リーフレット」より）

国内の外国人在留者数と技能実習・研修生数



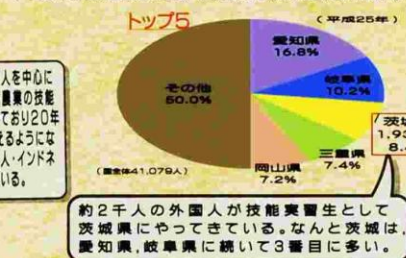
（注）平成25年度「技能実習」の在留者数に付いた技能実習生が、平成22年の法改正で「研修生」に引き上げられた研修生が減少した。また、平成25年度は「技能実習」の在留者数に付いた「研修生」が減少した。また、平成25年度は「技能実習」の在留者数に付いた「研修生」が減少した。

国籍別 外国人在留者数



都道府県別新規外国人技能実習生・研修生の受け入れ状況

（※JITCOの入学支援による）※JITCO公益財団法人国際研修協力機構の統計

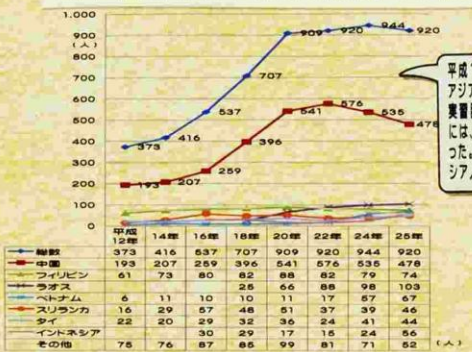


茨城県・在留資格別外国人労働者数

出典「外国人の雇用状況の届出状況（厚生労働省）」

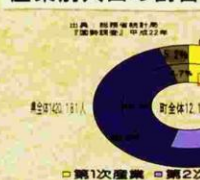


八千代町の外国人登録者の推移



平成12年から中国人を中心にアジア系の外国人が農業の技能実習目的に入ってきており20年には、900人を超えるようになった。近年は、ラオス・インドネシア人が増えてきている。

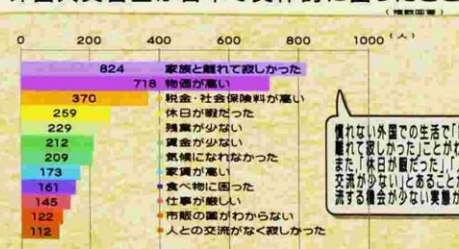
産業別人口の割合



町の特産物



外国人実習生が日本で具体的に困ったこと

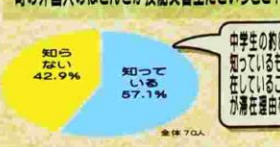


新規長距離における技能実習制度見直しの方針に関するアンケート調査（出典：JITCO、平成26年8月～9月、有効回答数1,103件）

町に外国人がたくさいること？

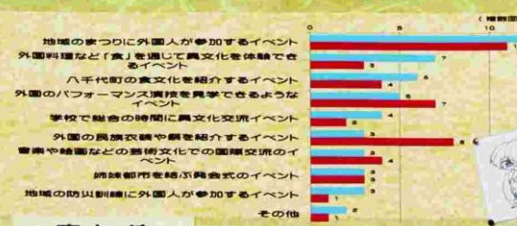


町の外国人のほとんどが技能実習生だということ？



中学生の約80%の生徒は、外国人の存在を知っているものの、技能実習生として日本に滞在していることについては、約40%の生徒が理由を知らないことがわかった。

どんな国際交流イベントなら参加したい？



～まとめ～

今回、外国人技能実習制度を調べ、八千代の農業の将来を考える上で大切な情報になることがわかった。私たちは、制度についても知るべきだし、関心をもつことが大事である。外国人と町民が交流する量は、まだまだ少ないが、八千代のまつりなどで異文化や音楽・芸術の文化交流イベントなどを開催して、外国人実習生を町や学校で積極的に「おもてなしする」ことが、多文化共生の第一歩であり、町の活性化にもつながると思う。

町としてどんな援助が可能か？



平成27年7月20日 結城郡八千代町立東中学校3年生70人アンケート調査

《第63回統計グラフ全国コンクール》表彰



《日本統計学会会長賞》

日本統計学会の岩崎会長から表彰状を授与。

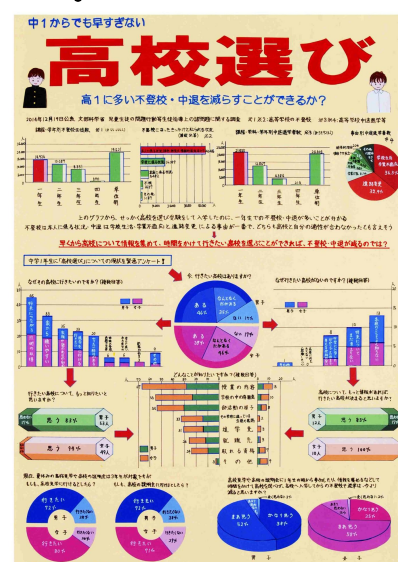


《日本品質管理学会賞》

日本品質管理学会の椿会長が表彰状を授与。

《日本統計学会会長賞》には東京都児華学園小学校5年の井川梨紗子さんの「鉛筆を使っていますか?」が選ばれ、日本統計学会の岩崎会長から表彰状が授与されました。

《日本品質管理学会賞》には栃木県宇都宮市立一条中学校1年の坂本翔汰さん「中1からでも早過ぎない高校選び」が選ばれました。



どうすれば高1に多い不登校、中退を減らすことができるか、問題解決に取り組む内容が評価され、椿会長から表彰状を授与されました。

鉛筆を使っていますか？

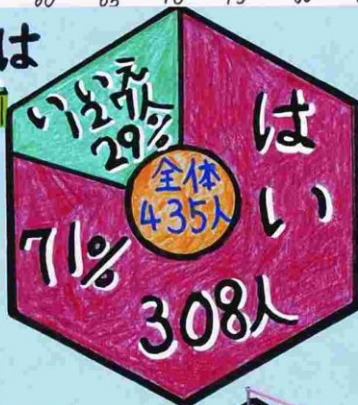
小学児童数と鉛筆の生産量

日本鉛筆工業協同組合ホームページ
読売新聞記載コラム(2015年4月)



小学生児童数が減るにつれて鉛筆生産量が減りしている。48年前と比較すると、生産量がずいぶん減少した。そこで私の学校で鉛筆についてのアンケート調査を全校生徒435人に行った。

鉛筆は好き？

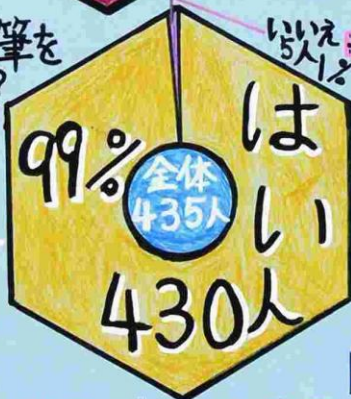


鉛筆は好き？
学年別

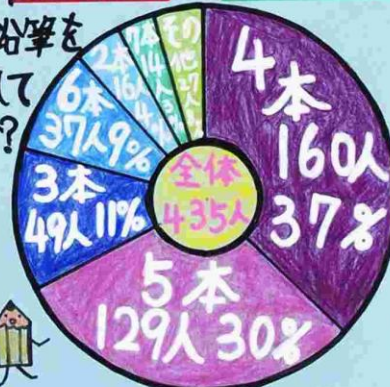


筆箱に鉛筆を入れていますか？

赤青鉛筆を含め、ほとんどの人が鉛筆を持っていた。

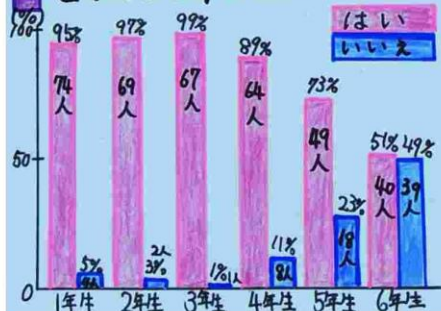


筆箱に鉛筆を何本入れていますか？



まとめ
学年が上がるにつれ鉛筆を嫌いな人が増え使わなくなる人が多い。

普段、鉛筆を使っていますか？



どの濃さの鉛筆を使っていますか？



学年が上がるにつれ使う鉛筆の濃さがBや2BからHBへと変わる。

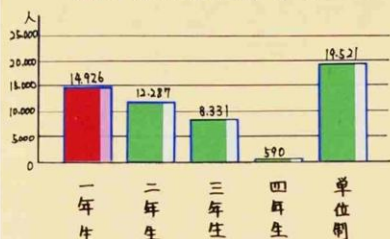
中1からでも早すぎない

高校選び

高1に多い不登校・中退を減らすことができるか？

2014年12月19日公表 文部科学省 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査 ※1※2:高等学校の不登校 ※3※4:高等学校中途退学等

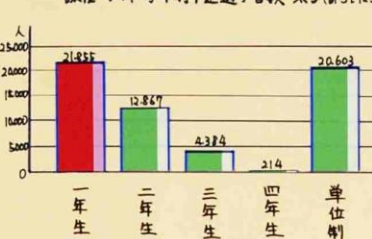
課程、学年別不登校生徒数 ※1 (計 55 656人)



不登校になつたきっかけと知られる状況
(補綴回答) ※2



課程・学科・学年別中途退学者数 ※3 (計59923人)



事由別中途退學者教



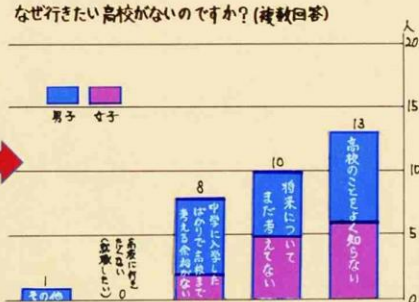
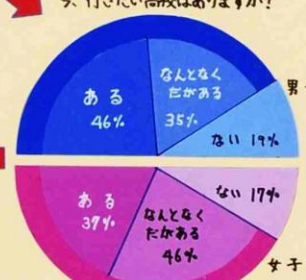
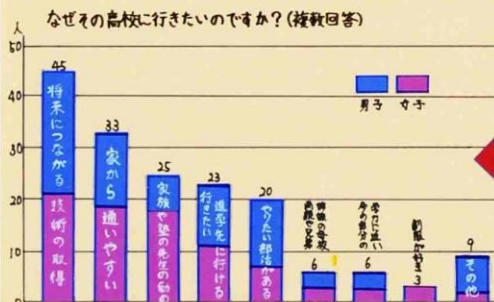
上のグラフから、せっかく高校を選び受験をして入学したのに、一年生での不登校・中退が多いことが分かる。不登校は本人に係る状況・中退は学校生活・学業不応応と進路変更による事由が一番で、どちらも高校と自分の適性が合わなかったとも言えそう。

早くから高校について情報を集めて、時間をかけて行きたい高校を選ぶことができれば、不登校・中退が減るのでは？

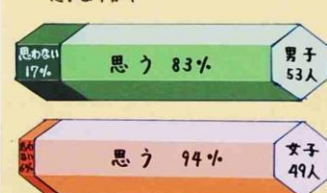
中学1年生に「高校選考」についての現状を緊急アンケート！

今、行きたい高校はありますか？

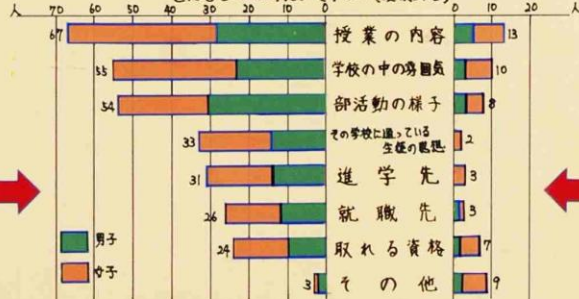
なぜ行きたい高校がないのですか？(講師回答)



行きたい高校について、もっと知りたいと思いますか？



どんなことが知りたいですか？(複数回答)



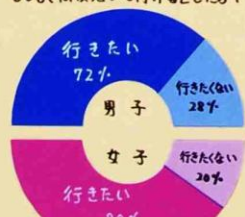
高校について、もっと情報があれば、
行きたい高校が決まると思いますか？



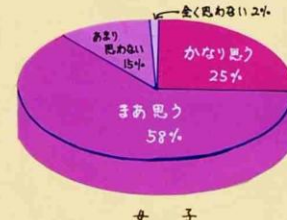
現在、夏休みの高校見学や高校の説明会は3年生が対象ですが

もしも、高校見学に行けるとしたら？

もしも、高校の説明会に行けずとしたら？



高校見学や高校の説明会に1年生の時から参加したり、情報を集めるなどして時間をかけて高校を選べば、高校へ入学してからの不登校や退学は、今より減ると思いますか？



(平成27年7月15日 宇都宮市立一条中学校1年生 男子45人、女子59人 計124人調べ)

《第63回統計グラフ全国コンクール》表彰



第2部の特選は「か～ちゃんのおいも、なんでおいしくないんやろ?!」の京都市立音羽小学校3年の稲波理紗さんが選ばれました。

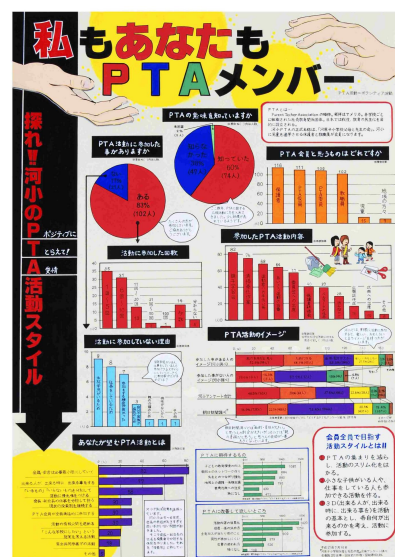


《統計情報研究開発センター会長賞》

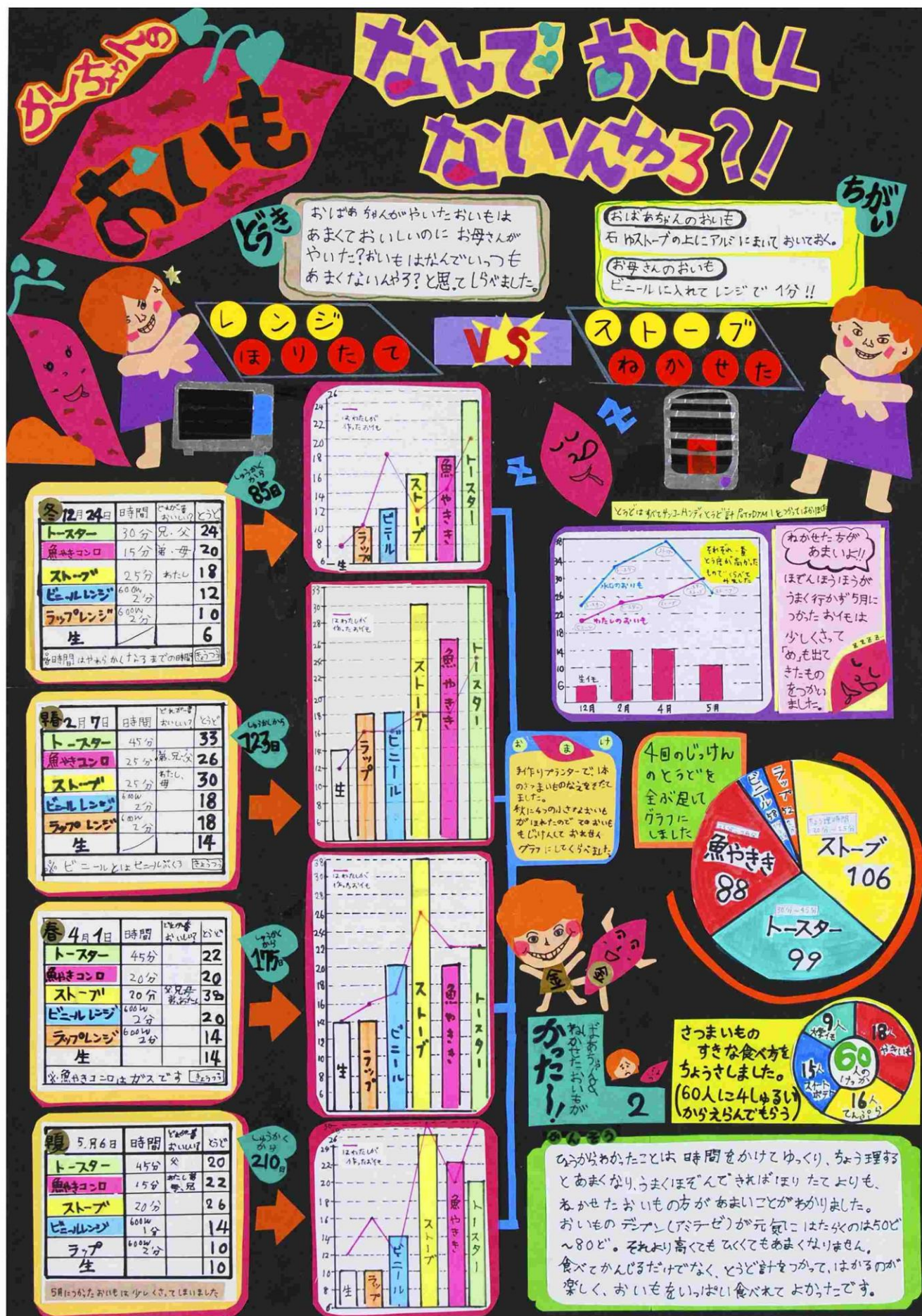


《統計情報研究開発センター会長賞》

統計情報研究開発センターの小玉会長が表彰状を授与。



また第5部一般の部から「私もあなたもPTAメンバー、探れ！河小のPTA活動スタイル」茨城県の鈴木佳世さん、根岸理加さんが選ばれ、それぞれ統計情報研究開発センターの小玉会長から表彰状と記念品を授与されました。



私もあなたも PTAメンバー

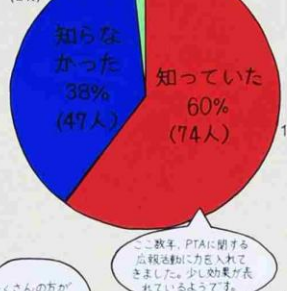
PTA活動＝ボランティア活動

探れ!!河小のPTA活動スタイル

ポジティブにとらえて!愛情

PTAの意味を知っていますか

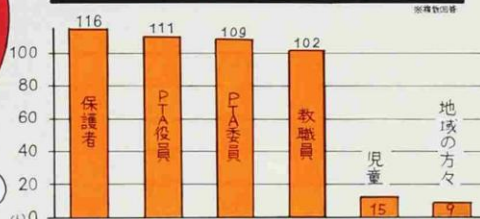
※単位は% ()内は人数



PTAとは...

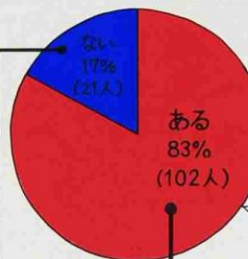
Parent Teacher Associationの略称。発祥はアメリカ。各学校ごとに組織された社会教育関係団体。日本では戦後、教育の民主化を目的に設立される。
河小PTAの正式名称は、「河原小学校父母と先生の会」。河小に児童を通学させる保護者と教職員が会員になります。

PTA会員と思うものはどれですか

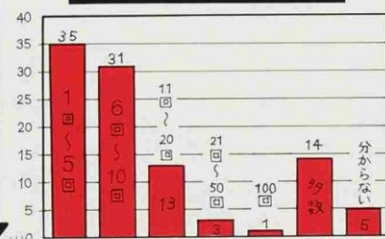


PTA活動に参加した事がありますか

※単位は% ()内は人数



活動に参加した回数





《平成27年度「統計の日」標語》入選者表彰

統計の日 10月18日



統計を
今に活かして
未来につなぐ



統計調査へのご回答をお願いいたします。
政府では、オンライン調査を推進しています。

総務省・各府省統計主管部局

統計の重要性に対する理解と関心を高め、統計調査に対して協力を得られるよう定められた10月18日「統計の日」の周知を図るため、毎年“標語”を募集していますが、平成27年度は「統計を今に活かして未来につなぐ」が選ばれ、鹿児島県屋久島事務所の淵之上修一さんが田家総務省政策統括官から表彰状と記念品が授与されました



総務省の田家政策統括官が表彰状を授与

《第65回全国統計大会》・・・《大内賞》表彰



大内賞委員会の西村委員長が表彰状を授与

表彰式の最後に日本の統計の父・大内兵衛博士を記念した《大内賞》の授与が行われました。

長年にわたり優れた研究に基づく著書・論文により、統計実務の進歩に直接貢献した皆さんが対象で、今年度は元・一橋大学経済研究所所長の松田芳郎さん、宮崎県統計調査員の神應寺佳津子さん、熊本県統計調査員の米岡富美恵さんの計3名に、大内賞委員会の西村委員長から表彰状を授与されました。



受賞者の皆さんが起立する中、受賞者を代表して松田芳郎氏が謝辞を述べました



《大内賞》を受賞された皆さん



謝辞を述べる松田芳郎氏

《第65回全国統計大会》・・・記念撮影



受賞者の皆さん表彰式を終えて余裕の表情、記念撮影では終始にこやか？でした



文部科学大臣奨励賞受賞の浜田さんを囲んで記念撮影



日本統計学会会長賞の井川さんを囲み記念撮影



日本品質管理学会賞の坂本君を囲み記念撮影

《第36回統計シンポジウム》

パネルディスカッション「平成27年国勢調査の結果データの利活用」



基調講演の加藤教



リーダーの川崎教授



パネリストの先生方

休憩後には「平成27年国勢調査の結果データの利活用」をテーマに《第36回統計シンポジウム》が開催されました。

日本大学経済学部 of 川崎茂教授がパネルリーダーを務め、明治大学政治経済学部の加藤久和教授、兵庫県企画県民部の芦屋恒憲氏、みずほ総合研究所の岡田豊氏、慶應義塾大学経済学部の津谷典子教授がパネリストとなり、パネルディスカッションが行われました。

最初に加藤教授が「国勢調査はどう活用されているか」をテーマに基調講演を行いました。

今年実施された全国民を対象に行われた国勢調査は膨大なエネルギーが費やされているが、そのデータはどのように活用されているのか、人口総数、男女別・年齢別人口、未婚化・晩婚化の状況、国籍別人口、就業人口、5年前と比べた人口移動などいろいろ分かってきますと加藤教授、このデータが政策の基礎資料として活用され、選挙区の決定や公的年金の財政検証などに活用されます。

基調講演の後、川崎リーダーは「平成27年国勢調査に期待する」、岡田氏は「民間の経済活動における人口データの利用」、芦屋氏は「兵庫県人口の推移と地域人口データの利用」、津谷氏は「国勢調査データの二次的利用について」をテーマに各パネリストがプレゼンテーションを行いました。

企業は地域に大きな関心を寄せている、若い女性の人口動向に注目しているなど企業が国勢調査のデータに大きな期待をしていることが紹介され、行政側からは兵庫県の人口増減率や近郊の大阪と兵庫県の間の人口移動を具体的に示され、生産年齢人口を再定義するなど、持続可能な地域づくりに役立てたいと。データをもっと活用されるようにするにはどうすれば良いのかディスカッションが行われ、館内の参加者は国勢調査の調査員など実際に苦労された方々も多く、熱心に耳を傾けていました。

午後5時過ぎディスカッションも終了が告げられ、大会は閉会しました。

統計の日

10月18日



統計を
今に活かして
未来につなぐ



世界統計の日
2015年10月20日
よりよいデータ
よりよい生活

ゆつてくださこのマー
きつと役立つ統計調査



政府統計

10月20日は国連大会が定めた世界統計の日で、
日本国政府は世界統計の日に賛同します。ロゴ提供：国連開発

統計調査へのご回答をお願いいたします。
政府では、オンライン調査を推進しています。

総務省・各府省統計主管部局